



木々の



外国からみた日本の医療の評価

国家公務員共済組合連合会 名城病院長 早川哲夫

去る八月二十六日に北京で

日中笹川医学研究者制度二〇周年記念式典が行われた。中国に帰国し、中国で活躍しているかつての留学生の自信にあふれた顔を見ることができ、大変うれしかった。また、高層ビルの林立する北京の街並は名古塵駅周辺より立派で、自分が田舎者のように感じる位であった。ホテルから見た朝の大通りは二〇年前は自転車の洪水であったが、今回は車の大渋滞であった。テレビでは一人っ子政策の結果、間もなく超高齢化社会となり、若夫婦で両方の父母、祖父母、計八人の世話をすることも近いと解説していた。

記念式典は人民大会堂の金色大庁で開催された。記念特別講演では森岡日中医学協会理事長の「日本の医療の現状と課題」と殷中国医師協会会長の「SARS危機からみる医学と公衆衛生の結合」を聞いた。

人民大会堂の中で、現在の日本の医療の国際的な評価と課題点を考える機会に恵まれた。出発前のニュースでは中国製の玩具や食品中の有害物質が欧米で問題になっていた。五十年前の日本製品の評価も「安かろう悪かろう」が国外の評価であった。現在は日本の車、カメラなどは一流と評価されている。

現在の日本の医療の国際的評価はどうであろうか。医療を評価する健康指標の代表として国民の平均寿命と乳児死亡率がある。平均寿命（長いほどよい）、乳児死亡率（低いほどよい）は日本八十一・八歳、〇・三%でも一位である。財政諮問会議の民間議員や経団連のお歴々の好きな米国は七十七・二歳、〇・七%で両方ともカナダ、英、独より低い五位である（二〇〇三年）。これらの指標に加えて、医療の地域差、患者の自己決定権や治療への満足度、地域や人権などによる患者への対応の格差、医療費負担の公平性などを加えたWHOの総合評価でも日本の医療は世界で一番である。これは一九六一年に日本が国民皆保険に踏み切り、いつでもどこでも医療が受けられるようにしたことによる輝かしい成果である。

では、肝腎の日本人の自分の国の医療への満足度を調査すると、日本の医療全般への満足度は五十一%と他の国より低い。自分の受けた医療への満足度は八十四%と高くなるので、良いと実感することはできるようだ。不思議なことにWHOの総合評価が日本より低い医療を受けている欧米や韓国の自国医療への満足度は日本より高い。

日本人の経済的な気前の良さを国内総生産（GDP）に対する総医療費の比率でみると、一九九六年は対GDP比七・〇%でOECD・二十九カ国中二十一位、二〇〇四年は八・〇%でOECD・三十カ国中二十一位である。一九九五年のサミット七カ国の公共事業費は日本が断トツに多く、他の六カ国の合計よりもはるかに多い額を支出している。

これらの数字をみると、日本人は自分の健康より道路や橋などを大切にする国民性のようにある。そのためか、病院の医師は当直明けの翌日も夜遅くまで働くことが多い。毛沢東主席の時代、裸足の医者が新生中国の医療の象徴のように日本に紹介された。今も身を粉にして中国医療を支えているものと思いが問してみた。裸足の医者では中国医療はもたない、中国政府はとうの昔にお金を増して近代医療を採用している。中国では当直明けの医師は当然翌日は休みで、成績が良ければボーナスも出るとのことであった。英国も昔はゆりかごから墓場までと福祉国家のお手本のようであった。サッチャー首相の財政再建の号令のもとに一〇年以上の低医療費政策を続けた。その結果、入院は三ヶ月待ち、患者は医療関係者に暴言を吐くわで、英国医療はブレア首相のてこ入れにもかかわらず、医療の荒廃が続いている様子を先日BBCで見た人も多いと思う。

昔から「角をためて牛を殺す」という古い中国のことわざがある。世界一良いと評価された日本医療という牛もこのまま放置すれば間もなく死ぬ運命にある。われわれ日本人も良い指導者を選んで道を間違えないようにしたいものである。

人民大会堂では千人以上の式典出席者を並べて一枚の写真に撮影した。私の顔は拡大鏡なしではつきり見ることができず。どんな工夫をしたか想像できますか。日本の医療の再建にもせめてこれ位の智恵は出してもよいと思う。どんなオリンピックピックになるか期待し、帰国した。



(1) 胃カメラで治療する胃がんの話

消化器内科部長 大岩 哲哉



高齢化社会となり、死因の3割はがんという時代です。

我が国では、胃がんは現在でこそ死亡率で肺がんに次ぐ2位ですが、長い間がん死の1位を占めており、国民病とまでいわれてきました。しかし、診断や治療の進歩により、最近では胃がんで亡くなる方は減る傾向にあります。それでも胃がんになる方は減ってはいません。

胃がんの治療は基本的に外科的胃切除術です。しかし、早期胃がんでリンパ節転移がないと考えられる場合⁽²⁾、胃カメラでがんを治療することが可能です。

胃カメラによる治療では入院期間が短いだけでなく、胃を小さくすることがないため術後の生活の負担がほとんどありません。

ただし、これまでの方法では、一度に2cm以上のがんはとれない、いくつかに分けて切除すると

がんが残る危険がある、などの問題点がありました。

本来、胃カメラで治療可能な胃がんは、手術すれば必ず治るがんですから、きちんと病変が治療できる方法が望まれていました。

最近、早期胃がんに対して内視鏡的切開剥離術という内視鏡治療法が広まってきました。

この方法は、手間はかかるのですが、

- ① 大きな病変を
- ② 安全に
- ③ 確実に治療できる

などの利点があります。

欠点としては、従来の方法に比べて

- ① 時間がかかる
- ② 術者の技量の差がやすい

などがあります。

私は5年以上前からこの方法に



取り組み、名城病院においても、この4月から行っております。

従来の方法に比べ（治療時間がかかること以外は）きわめて良好な成績を得ています。

さて、早い時期に治療をするためには早い時期に見つけなければなりません。そのためには時々検査を受ける必要があるでしょう。当院ではハイビジョンシステムを用いた内視鏡検査を行っており、早期発見にも努力しています。

「早期発見、早期治療」が今でも最も重要です。

早期胃がんの方は症状がないことが多いので、ご心配な方は、検診や内視鏡検査を受けられることをお勧めします。

- (1) 一般に「胃カメラ」と呼ばれますが、正式には電子内視鏡です。本物の「胃カメラ」は40年以上前の内視鏡であり、私も見たことがあります。
- (2) 分化型という種類のがんで、粘膜内にとどまるもの、などの基準があります。

NEWS



市民公開講座のお知らせ

名城病院では市民公開講座を行います。
ご自由にご参加ください。
(参加費無料)

第2回 市民公開講座

テーマ 「こわい心臓病のやさしい話」

講師 名城病院
循環器科部長 岩間 芳生

日時 平成19年12月12日(水)
午前11:00～12:00

会場 名城病院地下1階大会議室

お問い合わせ先

名城病院 庶務課 公開講座係
☎(052)201-5311 内線 2156

What's up

ホームページ リニューアル!

名城病院ホームページがリニューアルしました。

URLはそのまま

<http://www.meijohosp.jp>



名城病院の各科専門医師や医療器機体制の紹介など皆様のお役に立つ情報をよりわかりやすく掲載しました。
是非アクセスしてください。



7階病棟紹介

7階病棟師長
石川 幸子

当7階病棟は脊椎・脊髄センターとして、手術を必要とする患者さんを数多く受け入れています。

幼児から90歳台までの幅広い年齢層で、検査を含め手術の目的等で入院される患者さんで、病床48床がいつも満床に近い状況で稼働しています。

特に側彎症こわんしょうの患者さんは、遠方

の方も多く幼児はもちろん小・中学生の方も家族付き添い希望の入院もあり、病室は個室又は3人部屋を使用しています。

2回に分けての手術など長期入院の方も少なくありません。

その為に、大府養護学校からの院内教育も希望があれば案内しており、現在も1~2名の方が週3回ほどの院内教育を受けられています。

また側彎症の手術は全国でも当院がトップと言われるほどの件数で、専門性の高い治療と看護が必要となります。

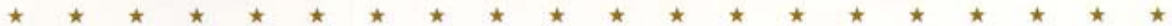
最近ではアメリカから、キャンベルDrを迎え、3症例の特殊な手術が行われました。患者さんや患者さんの家族とのコミュニケーションをとりながら私たち看護師も笑顔と優し



さをモットーに精神面の看護にも努めています。

そして整形（脊椎）の手術全般においても、医師・看護師・理学療法士・ソーシャルワーカーとともに、週1回リハビリカンファレンスを行い、リハビリの経過報告、主治医からの今後の方針、退院または療養病棟への転棟方向など話し合い看護ケアに繋げています。

今後も、患者さんの入院生活において安心して安全な質の高い看護を目指していきたいと思ひます。



ボランティア・ライブ in 名城



9月3日(月)にコンサートとマジックショーのボランティアライブを行いました。

自宅や家族から離れた病院での入院生活は制約もあることから、楽しい

ことや笑ったりすることも少ないと思ひます。

そんな患者さんに、よりよい療養生活を送っていただくこと、市内でボランティア活動を行っているグループにご協力いただきイベントを開催しました。

出演は、第一部にオカリナ演奏のグループ「ゆうあい」のお二人です。曲目は、唱歌「汽車」から始まり、「浜辺の歌」、「川の流れるように」、「時代」、「千の風になって」、そして最後に「四季の歌」の演奏に合わせて患者さんが合唱しました。

オカリナは、土でできた楽器で、その素朴でやさしい音色には患者さんも心を癒されたことでしょう。

第二部は、勝笑演芸一座による楽しい落語と不思議なマジックが行われました。

一本のロープが何本にも分かれたり、白い羽が袋の中で色の付いた羽に変わったりと次々に繰り出される手品に感動の声がでていました。ときには失笑して笑いもでていました。

また、飛び入りで当院内科の赤澤先生がギター片手に自ら作詞作曲した曲を弾き語りし、先生の元氣なキャラクターに100名を超える会場は盛況でした。

次回は、12月6日(木)にハンドベルコンサートを予定しています。





病診連携室 一病診連携とは一

病診連携室長 古澤 英雄

病診連携とは、地域の診療所と病院が相互に連携を密にして、それぞれが役割、機能を分担しながら地域の皆様方に対し効率的で、効果的な医療を提供していくというものです。

当院では現在385の医療機関と連携しており、平成18年度は5,636件（うち病診連携医療機関2,929件）平成19年度上半期では3,021件（うち病診連携医療機関1,541件）のご紹介を頂いております。

日本医師会は、“かかりつけ医”を提唱しております。



“かかりつけ医”とは家庭医ともいわれ、日頃から患者さんやご家族の健康、病気に対して相談に応じてくれる身近な開業医の先生のことです。

なにか身体の異常が生じた場合にまず、“かかりつけ医”に相談して、必要があればその医師から病院へ紹介してもらい検査、治療を依頼することにより、患者さんが直接病院を受診するよりも病院側としても多くの情報が得られ、効率よく医療を行うことが出来ます。

ご紹介をいただいた病院の医師は、診察結果や治療方針、治療経過などにつきまして、紹介元の“かかりつけ医”に適宜ご報告しています。そして軽快・治癒等の段階において、今度は逆に病院から、“かかりつけ医”に、病院での治療経過の報告とともに、今後の治療等が委ねられます。（逆紹介）

このように病院とかかりつけ医等が連携し患者さんの治療を行う

ことを病診連携といいます。

“かかりつけ医”等の先生方からの紹介状をお持ちいただければ、病院の医師は患者さんの状態を的確に把握し、重複した検査等は省略することができ、患者さんに必要な診療や説明に時間を費やすことができます。

なお“かかりつけ医”への紹介をご希望される方は、病院から紹介状をお出し致しますので、主治医等にお気軽にお申し付けください。

また“かかりつけ医”の先生を持ちたいけれど、どの先生が良いのかわからないという方には、当院の医師及び病診連携室よりご紹介させていただきますので、どうぞお気軽にご相談ください。



名城病院診療等のご案内

<http://www.meijohosp.jp>

■ 診療科目

内科・循環器科・小児科（小児循環器）・外科
整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神経内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課 (052)201-5311
内線2132にお問い合わせ下さい。

※医療福祉に関するお問い合わせは、医療福祉相談室 内線5105まで

※医療機関の方へ 病診連携に関するお問い合わせは、病診連携室 内線2151まで

■ 診察受付時間

新患受付 午前8:30～11:30まで

再来受付 午前8:00～11:30まで

■ 面会時間

平日 午後0:30～8:00まで
土・日・祝

但し、①小児科病棟は、午後7:00まで

②ベビーの面会は、

午後0:30～1:30まで	} の3回です。
午後3:30～4:30まで	
午後6:30～7:30まで	

③ICU室への面会は30分以内に限らせていただきます。

■ 診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日

年末年始（12月29日～1月3日）・創立記念日（11月6日）

■ 所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1

TEL (052)201-5311 FAX (052)201-5318

編集後記



私がいけばなを始めたのは、名城病院に入職して周もない頃、先輩に誘われたからです。お昼休みのちょっとした時間にお花の勉強会、2回の産休以外はずっとお稽古を続けました。私がお稽古を続ける理由は、花や木が好きなお花と気分転換を図ることです。お稽古を始めて五年目頃だったと思います。花材にあった花器を選び、あれこれ迷って活けている間に色々な雑念が消え、活け終わった頃には、清々しい気持ちになっていることに気が付きました。それ以来、私のリフレッシュ剤としていけばなと付き合っています。仕事や忙しさに追われ、ほっと一息つきたい現代人には取っておきのリフレッシュ剤になると思います。そんな訳でこれからもこのリフレッシュ剤と一緒に頑張っていきたいと思っています。よろしければ、みなさまどうぞ。（19.11 まで）